



公益社団法人 企業メセナ協議会

108-0014 東京都港区芝5-3-2
 アイセ芝ビル 8階
 phone 03-5439-4520 facsimile 03-5439-4521
www.mecenate.or.jp

2018 - No. 08 2018年10月26日

「メセナアワード 2018」受賞 7 活動決定 メセナ大賞は (株) 講談社「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」

本件は 10月26日(金)15:00、文部科学記者会・関西プレスクラブにて資料を配布しています

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:尾崎元規)は、「メセナアワード 2018」の受賞活動 7 件(「メセナ大賞」1 件、「優秀賞」5 件、「特別賞:文化庁長官賞」1 件)を決定しました。「メセナアワード」は、企業による芸術・文化を通じた社会創造の観点で特に優れた活動を顕彰するものです。

大賞の株式会社講談社は、絵本という経営資源の活用と、全国各地を対象とした細やかで息の長い活動が評価されました。そのほか優秀賞 5 件、特別賞 1 件についても、子どもを対象にした活動や、施設やファンドの運営、作家作品や文化財の有効活用など、手間暇かけた丁寧な取り組みに注目が集まりました。

「メセナアワード 2018」 受賞活動 * 活動詳細は次頁を御覧ください			企業・団体名五十音順、()内は活動実施場所
大賞	メセナ大賞	株式会社講談社 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊	(全国各地)
優秀賞	みんな笑顔で賞	アコム株式会社 「笑顔のおてつだい」バリアフリーコンサート アコム“みる”コンサート物語	(全国各地)
	アートで未来 盛り上げ賞	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 SOMPO アート・ファンド	(全国各地)
	芸術創庫賞	株式会社東横イン ART FACTORY 城南島の運営	(東京都)
	酒芸の極み賞	八戸酒造株式会社 sake × art 日本酒を通じた陸奥八仙の取り組み	(青森県)
	瞬間の芸術賞	富士フイルム株式会社 「写真の過去・現在・未来」を発信し、「人」と「人」をつなぐ FUJIFILM SQUARE (フジフイルム スクエア)の活動	(東京都)
特別賞	文化庁長官賞	ぺんてる株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社 校舎の思い出プロジェクト	(全国各地)



「メセナアワード 2018 贈呈式」

日時: 2018年11月29日(木)

14:00~17:00

会場: スパイラルホール(東京・表参道)

※受賞各社には贈呈式にてトロフィーと表彰状が贈られます

「メセナアワード 2018」概要

❖ 選考対象活動:

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、2017年4月1日から2018年3月31日に実施したメセナ(芸術・文化振興による社会創造)活動で、「This is MECENAT 2017」認定活動152件(80社・団体)を対象に選考。



写真:「メセナアワード 2017」贈呈式より

❖ 選考ポイント:

大賞 優秀賞	1. インパクト・貢献度・・・芸術・文化および社会に与えるインパクトや貢献度が高い 2. 関与度・・・活動を通じて社会・地域と深くかかわっている 3. 独自性・・・経営資源をメセナ活動に活かす工夫をしているなど、独自性がみられる 4. 継続性・・・活動に継続的に取り組んでいる、または活動の展開に意欲的である
特別賞 (文化庁長官賞)	自治体、公益法人、NPO、学校や社会福祉法人等の外部の団体と連携し、国民(地域住民、子どもたち等)の社会参加の機会をひらく取り組みや、「文化力」・「創造力」向上あるいは日本文化の海外発信に貢献する取り組みを顕彰。 ※特別賞(文化庁長官賞)は、文化庁担当者が選考に加わります。

❖ 2018年度審査委員:

原島 博(東京大学名誉教授) ※審査委員長／大竹文雄(大阪大学大学院経済学研究科教授)／大谷能生(音楽家／批評家)／中島信也(東北新社取締役／CMディレクター)／松田法子(都市史・地域史・生活文化論、京都府立大学講師)／馬淵明子(国立西洋美術館長) 以上、敬称略・五十音順／尾崎元規(企業メセナ協議会理事長)

「メセナアワード」とは

企業によるメセナの充実と社会からの関心を高めることを目的に、1991年「メセナ大賞」(2003年より「メセナアワード」に改称)を創設しました。以来、前年度に実施されたメセナ(芸術・文化振興による豊かな社会創造)活動を対象に選考を行い、2017年までに、全国各地の優れたメセナ活動207件を表彰しております。

- 過去のメセナアワード受賞活動: <https://www.mecenat.or.jp/ja/award/>
- 「This is MECENAT」ウェブサイト: <https://mecenate-mark.org/>

■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、助成、交流、発信等の事業を行う。

会長:高嶋達佳([株]電通 相談役)、理事長:尾崎元規(花王[株] 前取締役会会長)。

会員:163社・団体/19名(2018年10月5日現在)。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人企業メセナ協議会 広報:伊藤・佐藤(華)／認定・顕彰:齊藤・福森

TEL:03-5439-4520 | FAX: 03-5439-4521 | E-mail:press@mecenat.or.jp

〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8階 | URL: <http://www.mecenat.or.jp>

■「メセナアワード 2018」受賞活動の紹介

大 賞： メセナ大賞 株式会社講談社 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

1909年に創業した講談社は、書籍の出版を軸に、デジタル事業や海外ライセンスビジネスなど、時代に即した幅広い事業を展開している。「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」は、次代を担う子どもたちへの読書推進を目的に、創業90周年の記念にスタートした取り組みだ。全国47都道府県におはなしを届け、本好きな子どもに育ってほしいという願いから始まった活動は、同社文化事業の大きな柱の一つとなっている。

4トン車を改造したキャラバンカー2台に、他社の寄贈本もあわせた約550冊の絵本や児童書を積載し、それぞれ1つの県を1カ月かけて巡回する。地域の幼稚園や保育所、図書館など、約50会場ずつ訪問し、紙芝居・絵本の読み聞かせと積載本の自由閲覧を組み合わせた1時間のプログラムを行う。キャラバンカーはどこへでも走り続け、2018年3月までに訪問回数は21,447回、走行距離は約104.2万キロとなった。

読み聞かせは、同社契約スタッフ18名が「隊長」となって地域のボランティアとともに担当し、ドライバーは日本通運に協力を依頼。事前のボランティア説明会やドライバー講習会など、参加者全員が活動の共通認識をもちながら、安全面の配慮も十全に行う。さらに14年からは、現地訪問が難しい僻地校や特別支援学校などにも絵本を届けようと、無償貸出サービス「おはなし えほんバス」を開始。特製の輸送ケースに、同社が発送先に応じて点訳絵本や触る絵本など、季節に応じた良質な本を選び、送料も負担している。

訪問先も新たに拡大し、海外での展開も始まった。絵本の力を信じ、これからも未来を生きる子どもたちの心に寄り添い続けていく。

●評価ポイント

経営資源をいかして、子どもたちの情操教育とともに、読書文化の継承に寄与している。全国各地に応じたきめ細やかな支援を長年にわたって継続し、出版文化の裾野を広げている。



キャラバンカーでの自由閲覧。
子どもたちは、思い思いに楽しんで絵本と触れ合っている



「おはなし えほんバス」では盲学校や狭小地の園、
学校へ20~25冊ほどを届けている

●企業プロフィール [2018年4月現在]

本社所在地	: 東京都文京区	資本金	: 3億円
創立年	: 1909年	従業員数	: 924名
主な事業	: 出版事業、読書推進事業、顕彰事業		
URL	: https://www.kodansha.co.jp/		

■「メセナアワード 2018」受賞活動の紹介

優秀賞： **みんな笑顔で賞**
アコム株式会社

「笑顔のおてつだい」バリアフリーコンサート アコム“みる”コンサート物語

『「笑顔のおてつだい」バリアフリーコンサート アコム“みる”コンサート物語』は、1994年に始まったアコムの社会貢献活動である。当初、影絵劇団「かしの樹」に協賛支援をしていたが、同年7月からは同社の主催公演として開始。「誰かのために何かをしたい」「多くの人の笑顔が見たい」「地域社会と良好な関係を築きたい」という思いのもと、2000年からは障がい者も楽しめるよう配慮をしたバリアフリーコンサートとして、全国各地で開催している。

ピアノ・バイオリン・チェロの「生演奏」によるコンサートと、名作童話を演目とした幻想的な「影絵劇」の二部構成で100分間のプログラムとし、地域のお客さまを無料招待している。客席に車椅子専用席を設けるほか、舞台上では手話通訳がおり、来場者全員が手を動かしながら歌う手話うたのコーナーや、影絵劇の説明も行う。人の手や声を通して伝え、世代や障がいを超えた感動を共有できる空間となっている。

当日は「できる人ができることをする」をモットーに、地域の市民ボランティアと同社社員が協力して公演を支える。大田区の知的障がい者就労支援施設で封入されたプログラムやアンケート、スクラッチくじなどを手渡し、景品には開催地の授産施設でつくられた手芸品などを選んでいく。また、地域の福祉施設からの招待者の誘導サポートも行い、自主運営の手づくりのコンサートとして、来場者が安心して楽しめる工夫が散りばめられている。

光と影で彩られた幻想的な影絵劇に、命を吹き込む音楽と語り。すべてが一体となって、感動の世界へと誘う。一人の笑顔が、また次の一人の笑顔につながっていくだろう。

●評価ポイント

長年にわたり健常者と障がい者が一つになれる鑑賞機会を創出し、心豊かな文化を発信している。社員と地域が連携した自主運営のプログラムを通し、全国各地に文化を通じたさまざまな交流を生み出している。



第2部は、生演奏とともに光と影によって幻想的に彩られた影絵劇を公演



終演後は、スタッフ全員で全てのお客さまをお見送りする

●企業プロフィール [2018年10月現在]

本社所在地	: 東京都千代田区	資本金	: 638億3,252万円
設立年	: 1978年(創業1936年)	従業員数	: 2,044名
主な事業	: ローン事業・クレジットカード事業・信用保証事業		
URL	: https://www.acom.co.jp/		

■「メセナアワード 2018」受賞活動の紹介

優秀賞： アートで未来盛り上げ賞
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
SOMPO アート・ファンド

「SOMPO アート・ファンド」は、芸術文化の振興を通じた豊かな社会創造を目指し、2016年に設立された。専門分野にかかわる有識者から構成された選考委員会による審査のうえ、これまでに北海道から九州までの54活動に助成を行い、海外アーティストを招致する現代美術のアートプロジェクトから、震災復興を目的とした市民協働の芸術祭、地域に根ざした伝統芸能まで各地で個性豊かな活動が実施された。

芸術文化は都市集中となってしまうがちであるが、本物のアートを家の近くで楽しめることは、地方に住む子どもたちにとってもその世界を広げるきっかけとなっている。また、震災復興の活動については、年月が流れ他の助成が減りつつあるなか、本ファンドにより被災地で継続して活動している団体を支えている。

このファンドは全国各地の芸術文化関係者のネットワークづくりも大きな目的となっており、全国各地で活動を展開する助成団体が一堂に会し、活動報告を行うネットワークミーティングを実施している。他団体との交流の場を創出し、コミュニケーションをとりながら他の活動を知ることにより、相互にクリエイティビティが高められ活動の活性化につながる貴重な機会となっている。

また、同社は全国各地にある拠点を活かし、各地で行われる助成活動に対して、最寄りの拠点がもともと持っていた自治体や企業とのネットワークを活用し協力している。団体だけでは行き届かない方面にも広報することが可能となり、活動に地域的な広がりをもたらしている。

今年3年目を迎えた本ファンドでは、同社が主体的に各助成団体とコミュニケーションをとり橋渡しを行うことにより、各地でアートが創造する未来を支えている。

●評価ポイント

このファンドによる助成は一般公募で行われ、大小問わず全国の活動にチャンスを与えている。全国各地の助成団体が集まる機会を設定し、芸術文化関係者のネットワーク形成に寄与している。



西野 達「油屋ホテル」2017年 (撮影：脇屋伸光)

助成活動①「ベップ・アート・マンス 2017」
および「西野 達 in 別府」(主催：混浴温泉世界実行委員会)



助成活動②

「ヒューマンセレブレーション三陸国際芸術祭 2016・2017」
(主催：NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク)

●企業プロフィール [2018年3月末現在]

本社所在地	: 東京都新宿区	資本金	: 700 億円
設立年	: 1888 年	従業員数	: 26,189 名
主な事業	: 損害保険業		
URL	: https://www.sjnk.co.jp/		

■「メセナアワード 2018」受賞活動の紹介

優秀賞： 芸術創庫賞
株式会社東横イン
ART FACTORY 城南島の運営

東京・大田区に位置する人工島、城南島。1970年代に工場用地として区から誘致された土地に、「ART FACTORY 城南島」がある。エコノミーホテルを運営する東横インが倉庫に使用していた場所を、新たな地域コミュニティの場となるアート拠点へと生まれ変わらせた。2014年のオープン以来、アーティストの活動支援と芸術文化の振興を目的に、独自の取り組みを展開している。

総床面積 3,500 m²の施設には、大規模展示場をはじめ美術作品の展示室や多目的ホール、浮世絵インスタレーションの常設展示フロアもあり、入場無料で自由に見学できる。さらに、アーティストの制作・加工スタジオを設けて安価に貸し出すほか、15年からは「クリエイターサポートプログラム」を実施。スタジオを一定期間無償で提供し、同社の運営するギャラリーで出展の機会をつくる。利用者の中には著名なギャラリーの取り扱い作家となった者もあり、若手アーティストたちの豊かな才能が花開く環境が整っている。

また、ものづくりの街・大田らしく、技術を発信する場としても幅広く展開。月に一度、制作アーティストや区の町工場と協力して、ガラスや石膏、錫などの加工技術を体験しながら、キャンドルやアクセサリーづくりなどのワークショップを企画している。そのほか、周辺の大森エリアやJR浜松町駅で行うイベントとの共催や、島内の工場とともに施設見学ツアーを開催するなど、区の組合や企業、教育機関と連携して、地域活性化と産業維持に努めている。

近年は羽田空港の国際化に伴い、城南島の魅力をグローバルにも伝える。多様な人と人がふれあい、まちの新たな文化創造の架け橋となっているのだ。

●評価ポイント

土地の特性を活かした独自の芸術文化支援の仕組みをつくり、若手作家の育成に寄与している。町工場や企業との連携により、地域や地元産業の活性化に貢献している。



施設外観。本館4階と別館3階に分かれており、屋上庭園では羽田空港やお台場も見渡せる



ワークショップ「錫の豆皿をつくろう！」。
参加者は子どもから年配者まで、夏休みは親子連れが多い

●企業プロフィール [2018年10月現在]

本社所在地	: 東京都大田区	資本金	: 5,000万円
設立年	: 1986年	従業員数	: 11,510名
主な事業	: エコノミーホテルの運営		
URL	: http://www.toyoko-inn.com		

■「メセナアワード 2018」受賞活動の紹介

優秀賞： 酒芸の極み賞

八戸酒造株式会社

sake×art 日本酒を通じた陸奥八仙の取り組み

青森県八戸市湊地区にある八戸酒造の敷地内には、赤レンガ蔵、漆喰土蔵、そして伝統的工法を用いた木造の主屋など、和洋が混在した6つの建造物が並んでいる。大正時代に建てられたこれらの建造物は、隣を流れる新井田川の風景とともに近代産業の繁栄を思い起こさせる町の象徴である。

1775年創業の老舗蔵元である同社は、文化庁登録有形文化財に指定されているこれらの建造物を活用し音楽やダンス、郷土芸能などの公演や美術展示などを行っている。自ら企画するものに加え広く一般公募も行い、有名無名を問わず、そこに日本酒を絡めてさらに楽しんでもらえるようにできるかという基準で独創的な表現者を受け入れている。

この活動のきっかけは、青森県産の原材料にこだわり生まれた同社の日本酒の銘柄「陸奥八仙」にある。地域の資源を活かした陸奥八仙の魅力を消費者に伝える取り組みの中で、同社による地域活性化のための活動が始まった。その一つが自社の特徴である蔵を活用したイベントである。そのほか、八戸に残る里山「蟹沢（かにさわ）」で清水の保全活動から田んぼの再生やオリジナルの酒づくりを行う「がんじゃ自然酒倶楽部」は、全国から約200名が会員となり活動している。日本酒が人々をつなぎ、地域のにぎわいが増している。

—おいしい日本酒をお客さんに楽しんでもらいながら、自分たちの音楽を披露できる、とても“サイトスペシフィック”な体験—これは八戸酒造で実際に演奏を行ったアーティストの言葉だ。公演の際にはアーティストと観客が陸奥八仙を飲み交わす。イベントは観光客を八戸に呼び込み、また、同社の酒を知ってもらうきっかけにもなっている。八戸と陸奥八仙、そして文化芸術が結びつき相乗効果が生まれている。

●評価ポイント

自社の歴史的建造物を活かしイベントを行うことにより、地域の観光拠点となり地域活性化に寄与している。／ 酒造り体験をはじめ、日本酒を通じてアーティストと観客、観光客などさまざまな人々の交流を生んでいる。



和洋折衷の建築様式が混在する敷地内の建物は、登録有形文化財にも指定されている



「新酒を愉しむ会」にて韓国の芸能「農樂」を披露するチェ・ジェ Chol

●団体プロフィール [2018年10月現在]

本社所在地	: 青森県八戸市	資本金	: 2,000万円
設立年	: 1775年	従業員数	: 30名
主な事業	: 日本酒の製造・販売		
URL	: https://www.mutsu8000.com/		

■「メセナアワード 2018」受賞活動の紹介

優秀賞： 瞬間の芸術賞

富士フイルム株式会社

「写真の過去・現在・未来」を発信し、「人」と「人」をつなぐ
FUJIFILM SQUARE（フジフイルム スクエア）の活動

富士フイルムは、写真文化を守り、育むことを目指し、1957年銀座に「富士フォトサロン」を開設した。プロ・アマチュア問わず優れた作品を銀塩プリントし、写真の魅力を最大限に伝えるサロンは、作品づくりを志す人が「いつかは富士フォトサロンで」と目指す写真発表の場となった。

21世紀に入り、デジタル化による写真フィルム市場の激減で業界全体が岐路に立たされる中、同社は写真事業の継続を宣言。六本木への本社移転と同時に、サロンに写真の歴史とカメラの進化を学べる「写真歴史博物館」などを併設し、「フジフイルム スクエア」としてオープンした。さらに創立80年の2014年には、幕末・明治～2000年代の日本の写真史を飾った101人の作家の作品を収蔵・公開する「フジフイルム・フォトコレクション」に取り組む。コレクションは全国の美術館・博物館に無償で貸し出され、芸術作品としての価値を伝え、日本の写真史の体系的な理解を助ける教科書的な役割を果たしている。

17年は開館10周年を迎え、「写真の過去・現在・未来」を発信する12本の特別企画展を行った。「フジフイルム・フォトコレクション展」や、世界と日本に多大なる影響を与えた風景写真家「アンセル・アダムス展」、現代の写真家が最新ミラーレスデジカメや「写ルンです」で撮影した作品展、人気インスタグラマーの写真をプリントしSNSとは異なった作品表現を試み、写真の新たな可能性を追求する写真展などを開催した。鑑賞サポートにも積極的で、ギャラリートークや上映会のほか、同社技術系OBがコンシェルジュとなって、写真の歴史などの解説ツアーを毎日開催している。

写真を通じて一人ひとりの心がつながる素晴らしさを伝え、写真という美しい文化を明日につなぐ挑戦は、これからも続いていくのだ。

●評価ポイント

長年にわたり、人と人の心がつながる感動体験を伝え、写真文化の普及と発展に貢献している。時代を捉えながら、文化財として写真の価値を継承し、可能性を追求し続けている。



富士フイルムフォトサロンでのギャラリートークの様子



写真歴史博物館では、幅広い年代にわたるカメラの展示や歴史的に価値の高い写真の企画展を開催している

●企業プロフィール [2018年3月現在] ※富士フイルムホールディングス(株)のデータ

本社所在地	: 東京都港区	資本金	: 404億円
設立年	: 1934年 (2006年富士写真フイルム(株)から商号変更)	従業員数	: 77,739名(連結)
主な事業	: イメージングソリューション、ヘルスケア&マテリアルズソリューション、ドキュメントソリューションの開発、製造、販売、サービス		
URL	: https://www.fujifilmholdings.com		

■「メセナアワード 2018」受賞活動の紹介

特別賞： 文化庁長官賞

ぺんてる株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
校舎の思い出プロジェクト

「校舎の思い出プロジェクト」は、ぺんてるとキヤノンマーケティングジャパン（以下キヤノン MJ）が、建て替えや統廃合により取り壊される校舎での最後の思い出づくりをサポートするプロジェクト。きっかけは、池袋にある小学校が取り壊されるにあたり、「何か思い出に残ることをしたい」とぺんてるが相談を受けたことに始まる。校舎全体をキャンバスとして絵を描くことを提案し、そして完成の記念に写真を撮ろうと、キヤノン MJ に協力を依頼。2014 年、両社がそれぞれ行っていた取り組みを発展させた形で実現した。学校や地域から高い評価を得て、2 社共同の新たな活動モデルとして展開、17 年までに 18 校で行っている。

全国の小学校から応募を受け、2 社で訪問・打合せを重ね、校舎の歴史や生徒数、スケジュールに応じたサポートをする。ぺんてるは絵の具やくれよんを寄贈し、児童をはじめ、保護者、卒業生、近隣住民が一緒になって、普段は描くことの出来ない場所に校舎への想いを自由に表現し、思い出を「つくる」活動をする。キヤノン MJ は、一眼レフカメラを児童に貸し出し、操作方法も指導。壁画作品を大判プリンターで出力・額装するほか、児童が撮影した制作風景をフォトブックにして渡し、思い出を「のこす」活動を行う。子どもたちは体験する楽しさを共有することで、新たな想像力が育まれるとともに、地元アーティストや青年会など地域との触れ合いを通じて、校舎への愛着や誇りも増していく。異業種である 2 社が協力し、強みを活かすことで、より大切な思い出として刻まれている。

施設の老朽化や少子化に伴い、小学校の統廃合が増えている中、育った学び舎の長い歴史に「ありがとう」の気持ちを込めて。想いをかたちにした体験は、明るい未来に向かって、永遠に残り続けるだろう。

●評価ポイント

異業種同士の協働により、相乗効果の高い独自のプログラムを展開し、子どもたちの豊かな感性を育んでいる。／ 地域や各世代が主体的に参加でき、活動を発展させていく場をつくり上げている。



校舎の壁や窓、階段などに自由にペイント。
児童が「思い出写真係」となって、制作風景を撮影する



制作風景や作品を撮影し、フォトブックにして寄贈。
新しい学校の図書室に残している

●企業プロフィール

ぺんてる株式会社 [2018 年 3 月現在]

本社所在地	: 東京都中央区	資本金	: 4 億 5,000 万円
設立年	: 1946 年	従業員数	: 706 名 (単体)
主な事業	: 文具事務用品 (画材、筆記具など) の製造販売事業		
URL	: http://www.pentel.co.jp/		

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 [2018 年 4 月現在]

本社所在地	: 東京都港区	資本金	: 733 億 300 万円
設立年	: 1968 年	従業員数	: 5,461 名 (単独)
主な事業	: キヤノン製品ならびに関連ソリューションの 国内マーケティング事業		
URL	: https://cweb.canon.jp/corporate/index.html		

■「メセナ大賞・優秀賞」トロフィー

メセナアワードでは、3年ごとに若手作家に新作トロフィーを依頼・制作しています。

2018年～20年は作家の青木美歌氏が制作を行っています。

トロフィーは「メセナアワード2018贈呈式」（2018年11月29日[木]スパイラルホール）にて、表彰状とともに受賞各社に贈られます。



The seed of light

2018年

W155×D155×H118mm

ガラス

撮影：佐藤 茂

【作家プロフィール】

青木美歌（あおき みか）

平成29年度ポーラ美術振興財団在外研修員としてアイスランドにて研修。

武蔵野美術大学卒業後、文化庁新進芸術家海外研修制度にてイギリスへ留学。Royal College of Art 修士課程修了。

菌類やウイルス、植物等、有機的なフォルムをモチーフに、目に見えない生命の在りようをテーマとした作品を発表している。

<http://www.mikaaoki.jp>